

お客様の衣食住遊を豊かにする

INTERIM BUSINESS REPORT



株式会社ベルーナ

第50期 中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日

BELLUNA

証券コード: 9997





景気の回復基調、好調な観光産業を追い風に
4セグメントで増収、5セグメントで増益を達成。
当中間連結会計期間の連結業績予想を上方修正。

代表取締役社長 安野 清

当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。また、これに加え訪日外客数が過去最速で3,000万人を突破するなど国内の観光産業は好調が続いている一方で、物価上昇が継続しており個人消費の冷え込みが懸念されております。また、米国の通商政策の動向や長期化する地政学リスク、国内外の金利動向など不確実性の高い要因により先行き不透明な状況が続いているあります。

当期の概況

当中間連結会計期間の売上高は979.9億円(前年同期比0.9%増)、営業利益は48.7億円(同36.5%増)となりました。経常利益は前年同期と比べ為替差益が増加した一方で、シンジケートローンの締結にかかる支払手数料が発生したことなどにより45.0億円(同8.6%増)となりました。また、投資有価証券売却益が前年同期と比べ増加したことなどにより親会社株主に帰属する中間純利益は33.3億円(同29.7%増)となりました。

財政状況に関しては、流動資産は、前連結会計年度末比36.8億円増加し、1,351.2億円となりました。固定資産は、前連結会計年度末比199.1億円増加し、2,009.3億円となりました。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比235.9億円増加し、3,360.6億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比55.8億円減少し、560.4億円となりました。固定負債は、前連結会計年度末比278.7億円増加

し、1,370.6億円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比223.0億円増加し、1,931.0億円となりました。

当期の進捗

当社グループは前期より8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グロース事業」と安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル事業」の2つにグルーピングをし、それぞれに適した経営資源の配分や事業展開を図っております。

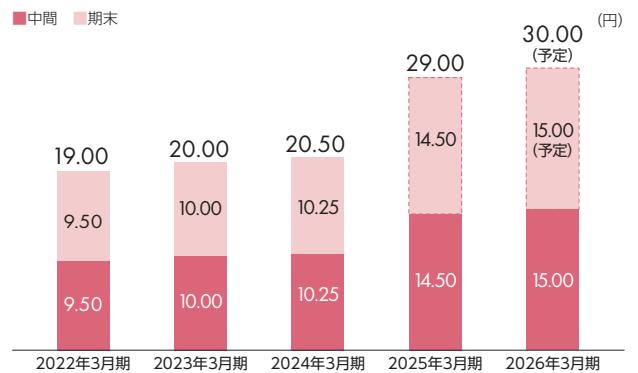
「グロース事業」における「プロパティ事業」では、国内ホテル事業において、国内旅行需要や訪日外客数が増加したことなどにより増収増益となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、北海道エリアを中心に稼働率や客室単価が上昇したため増収となりましたが、軽井沢ホテル＆リゾートのウェディング事業の不調や食材原価、人件費の高騰もあり減益となりました。国内都市型ホテルにおいては、すべてのホテルが堅調に推移し増収増益となりました。特に札幌エリアや大阪万博が開催された関西エリアの稼働率や客室単価が大幅に上昇しました。2025年7月に開業した小樽グランベルホテルも順調に推移し、この結果、売上高は212.1億円(前年同期比27.4%増)となり、セグメント利益は35.0億円(同25.1%増)となりました。

「化粧品健康食品事業」では、化粧品通販事業において、新規顧客の獲得数減少や新規購入者の定期コースへの引上げ率低下などにより減収となりました。一方で、非効率な広告宣伝を控え収益性の確保を優先したため増益となりました。健康食品通販事業に

財務ハイライト(連結)

売上高	979.9億円(前年同期比0.9%増)
営業利益	48.7億円(前年同期比36.5%増)
経常利益	45.0億円(前年同期比8.6%増)
親会社株主に帰属する中間純利益	33.3億円(前年同期比29.7%増)

1株当たり配当金の推移



おいては、新規顧客の獲得効率改善は不十分であったものの、既存顧客の定期コース継続率が改善傾向となったため減収増益となりました。この結果、売上高は58.9億円(同12.8%減)となり、セグメント利益は5.3億円(同441.7%増)となりました。

「グルメ事業」では、グルメ通販事業において、食品頒布及びギフトジャンルの売上が前年同期に比べ好調に推移した一方で、食品单品ジャンルは苦戦しました。また、収益性を重視し効率的な販売促進を抑制しましたが、おせち商品の販売促進を例年より前倒しで実施したことにより受注関連経費が増加したため増収減益となりました。ワイン通販事業においては、新規顧客獲得が好調に推移したため増収増益となりました。この結果、売上高は133.1億円(同4.9%増)となり、セグメント損失は0.01億円(前年同期は0.6億円のセグメント利益)となりました。

「ナース関連事業」では、看護師向け通販事業において、一部販売経路における商品価格やサービスレベルの見直し、カタログ媒体の発行数量を抑制するなど収益性の改善を重視したため減収増益となりました。また、不採算事業であった看護師転職サイト「ナースキャリアアネクスト」のサービスを2025年6月30日に終了しました。この結果、売上高は63.4億円(同4.5%減)となり、セグメント利益は3.7億円(同17.7%増)となりました。

「サステナブル事業」における「呉服関連事業」では、和装販売事業において、原価率の改善及び販売単価の上昇は図れたものの、既存店舗において購入者及び新規絹布販売数が前年同期と比べ減少したことなどにより減収減益となりました。衣裳レンタル事業においては、早期受注会の実施拡大による卒業式袴レンタルの受注増加により増収になった一方で、受注関連経費が増加したため減益となりました。この結果、売上高は95.0億円(同6.0%減)と

なり、セグメント損失は5.7億円(前年同期は4.0億円のセグメント損失)となりました。

「アパレル・雑貨事業」では、アパレル・雑貨通販事業において、原材料や資材の価格が高止まりする中、DM配達費の値上げも受けたため収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図りました。あわせて、不採算事業であったファッショントモールのサービスを終了したことにより減収となりましたが収益性は改善いたしました。この結果、売上高は322.6億円(同8.8%減)となり、セグメント損失は9.3億円(前年同期は15.4億円のセグメント損失)となりました。

「その他の事業」では、アパレル卸売事業において、クライアント各社の展開縮小が継続している一方で、在庫処分が前年同期と比べ減少したことなどにより減収増益となりました。旅行代理店事業においては、成長性を優先した事業展開を図ったことにより増収減益となりました。この結果、売上高は13.4億円(同5.1%増)となり、セグメント損失は2.6億円(前年同期は3.0億円のセグメント損失)となりました。

「データベース活用事業」では、封入・同送サービス事業において、アパレル・雑貨通販事業におけるカタログ発行数及び商品発送数の減少などにより減収減益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、物流サービス及びコールセンターサービスの新規クライアントが順調に獲得できたことや既存クライアントからの売上げが拡大した一方で、人件費の上昇などにより増収減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客が前年同期と比べ効率的に獲得できたことなどにより増収増益となりました。この結果、売上高は88.2億円(同6.4%増)となり、セグメント利益は22.7億円(同11.4%減)となりました。

プロパティ事業

- ・ホテル事業
- ・不動産事業（オフィスビルなどの賃貸・開発・販売）
- ・太陽光発電事業
- ・飲食店事業



化粧品健康食品事業

- ・化粧品通販（オージオ・なちゅライフ）
- ・健康食品通販（リフレ）



グルメ事業

- ・食品通販、日本酒通販
- ・ワイン通販



ナース関連事業

- ・看護師向け通販（ナースリー・アンファミ工）
- ・看護師人材紹介（JOB STUDIO）



呉服関連事業

- ・和装店舗（BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋）
- ・大学生の卒業式袴レンタル（マイム）



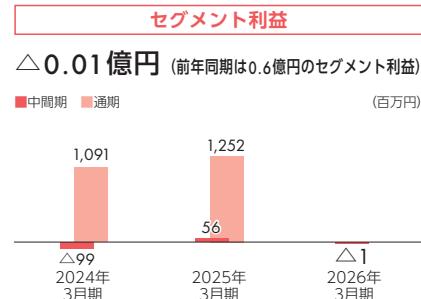
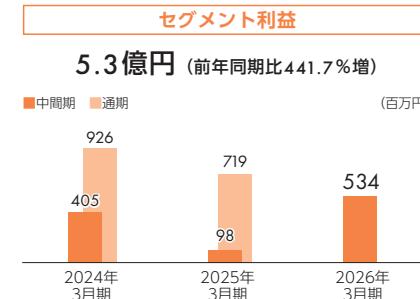
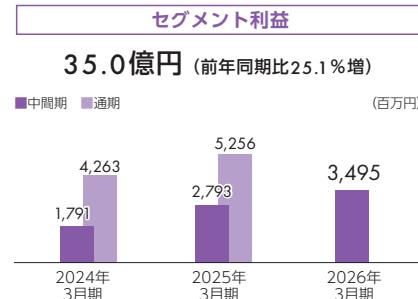
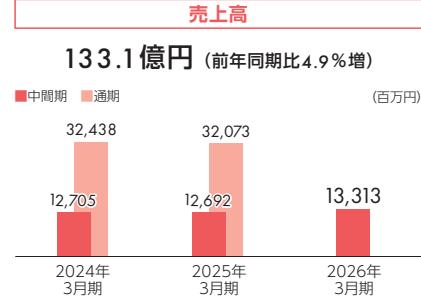
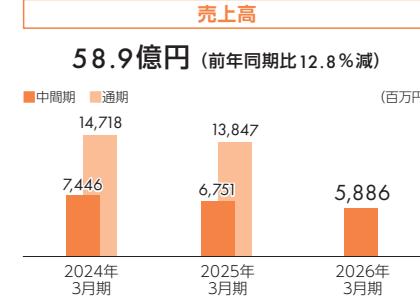
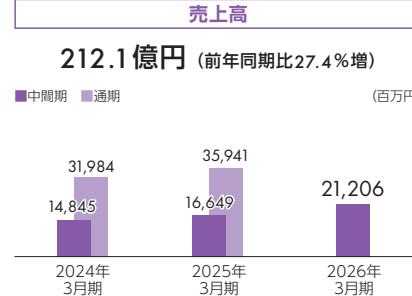
アパレル・雑貨事業

- ・ミセス層中心のカタログ、ネット通販
- ・ネット専業通販（ミン・丸長・セレクト）
- ・アパレル店舗（BELLUNA）



データベース活用事業

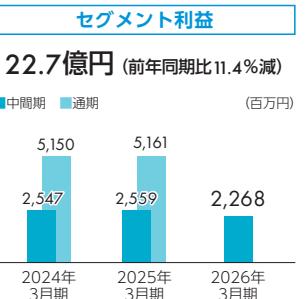
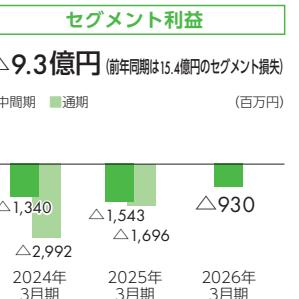
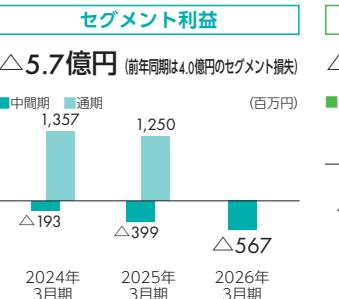
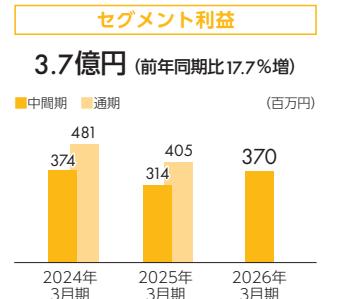
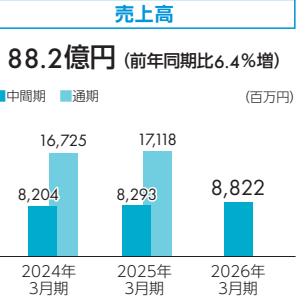
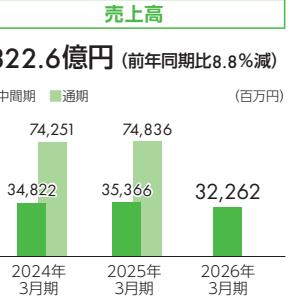
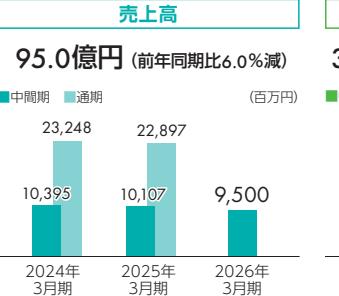
- ・封入・同送サービス（ベルーナダイレクト）
- ・通販代行サービス（BBS）
- ・ファイナンス事業（ベルーナノーティス）
- ・物流3PL事業（BGL・レーベル）



国内ホテル事業においては、国内旅行需要や訪日外客数の増加などにより増収益。国内リゾート型ホテルにおいては、稼働率や客室単価が上昇したものの、食材原価・人件費の高騰もあり増収減益となりました。国内都市型ホテルにおいては、札幌エリア・関西エリアの稼働率や客室単価が上昇しました。この結果、売上高は212.1億円（同27.4%増）となり、セグメント利益は35.0億円（同25.1%増）となりました。

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数減少などにより減収となり一方で、非効率な広告宣伝を控え収益性の確保を優先し増益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客獲得の効率改善は不十分であったものの、既存顧客の定期コース継続率が改善傾向となり増収益となりました。この結果、売上高は58.9億円（同12.8%減）となり、セグメント損失は0.01億円（前年同期は0.6億円のセグメント利益）となりました。

グルメ通販事業においては、収益性を重視し非効率な販売促進を抑制するなどしましたが、おせち商品の販売促進を例年より前倒しで実施したことにより受注関連経費が増加したため増収減益となりました。ワイン通販事業においては、新規顧客獲得が好調に推移したため増収益となりました。この結果、売上高は133.1億円（同4.9%増）となり、セグメント損失は0.01億円（前年同期は0.6億円のセグメント利益）となりました。



看護師向け通販事業においては、カタログ媒体の発行数量を抑制するなど収益性の改善を重視したため減収益となりました。また、不採算事業であった看護師転職サイト「ナースキャリアスクエスト」のサービスを2025年6月30日に終了しました。この結果、売上高は63.4億円（同4.5%減）となり、セグメント利益は3.7億円（同17.7%増）となりました。

和装販売事業においては、購入者及び新規顧客販売数が減少したことなどにより減収益。衣裳レンタル事業においては、卒業式袴レンタルの受注増加により増収になった一方で、受注関連経費が増加したことで減収となりました。この結果、売上高は95.0億円（同6.0%減）となり、セグメント損失は5.7億円（前年同期は4.0億円のセグメント損失）となりました。

アパレル・雑貨通販事業においては、収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図りました。あわせて、不採算事業であったファッショニエCMモールのサービスを終了したことにより減収となりました。この結果、売上高は322.6億円（同8.8%減）となり、セグメント損失は9.3億円（前年同期は15.4億円のセグメント損失）となりました。

「ホテル瑞鳳」および「秋保グランドホテル」を取得 ホテル事業のブランド価値のさらなる向上を目指す



ホテル瑞鳳

秋保グランドホテル

当社は、リゾートホテル「ホテル瑞鳳」および「秋保グランドホテル」(宮城県仙台市)を、2025年9月30日に取得いたしました。当社グループは、ホテル事業の拡大を進めており、両ホテルの取得により、収益力とブランド価値のさらなる向上を目指します。

今回取得した「ホテル瑞鳳」および「秋保グランドホテル」は、いずれも東北を代表する温泉地である秋保温泉に立地しています。高い認知度と安定した集客力を有する大型リゾート施設であることから、多様なお客様のニーズに応える魅力ある拠点として、今後の展開に大きな可能性を秘めています。

今後は、当社が培ってきた顧客基盤やホテル運営ノウハウ、人材採用力を活かし、本ホテルの魅力をお客様に最大限伝えていくよう取り組んでまいります。

■ ホテル瑞鳳

華やかで開放感あふれる空間と、数寄屋造りの客室が魅力の温泉リゾートです。全117室の客室は、磊々峡(らいらいきょう)や秋保の街並みを望む和室、シモンズ社製ベッドを備えた洋室など多彩なタイプをご用意しております。日本庭園に併む6種の露天風呂では、四季の自然に癒されながら、心も体もリフレッシュできます。レストランでは、和・洋・中の豊富なメニューをビュッフェ形式でお楽しみいただけます。

■ ホテル瑞鳳迎賓館 櫻離宮

仙台市の秋保温泉に位置するホテル瑞鳳の「離れ宿」で、全客室に温泉露天風呂を備えた高級宿泊施設です。数寄屋造りの趣とモダンなデザインが融合したプライベート空間で、磊々峡の渓谷美を眺めながら心穏やかな時間を過ごせます。大浴場やプールなど、ホテル瑞鳳の本館の施設もご利用いただけます。

■ 秋保グランドホテル

磊々峡を望む絶好のロケーションに位置し、四季折々の自然が楽しめる温泉ホテルです。全140室の客室には、東北産の手作り家具や遊び心のあるインテリアを取り入れ、快適で贅沢な時間をお過ごしいただけます。露天風呂では、渓流のせせらぎや鳥のさえずりに癒されながら、自然との一体感を味わえます。レストランでは、お子様からお年寄りまでご堪能いただけるように、朝食・夕食ともビュッフェ形式でご提供します。



人気観光地小樽に「小樽グランベルホテル」をオープン レトロな景観が広がる小樽運河を一望できるホテル

当社子会社である株式会社グランベルホテルは、2025年7月18日(金)、北海道小樽市に「小樽グランベルホテル」を開業いたしました。

外観デザインは、小樽の水中火山が噴出してできた「小樽軟石」の地層面をモチーフとし、ノスタルジーを感じさせる小樽の街並みに調和するものとなっています。

また、「小樽運河」や、多彩なガラス製品が並ぶ人気ショッピング「北一硝子 三号館」など、小樽の観光スポットまで歩いてすぐの好立地にあり、当ホテルの象徴である明るく開放的なルーフトップBARからは、そんな小樽の街を一望いただくことができます。

雄大な自然とノスタルジックな街が魅力の小樽で、心身ともにリラックスできる優雅なホテルステイ体験をご提供します。



小樽グランベルホテル

所在地 北海道小樽市堺町1-1

アクセス JR小樽駅 徒歩15分

客室数 全159室

公式サイト <https://www.granbellhotel.jp/otaru/>



グランベルホテル
グループ公式HP



小樽グランベル
ホテル公式HP

ワイン&日本酒の通販サービスが通販国内売上高No.1を獲得 「My Wine Club」は17年連続、「旨い酒が飲みたい」は9年連続

当社が展開するワイン専門通販「My Wine Club(マイワインクラブ)」が、株式会社東京商工リサーチの「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」で、通販国内売上高17年連続No.1^{※1}を獲得しました。

また、グルメ専門通販「ベルーナグルメ」においても、日本酒の通販「旨い酒が飲みたい」が、株式会社東京商工リサーチ実施の2024年度「国内日本酒通販市場シェアに関する調査」にて、通販国内売上高9年連続1位^{※2}を獲得しました。

ベルーナグループでは、“お客様の衣食住遊を豊かにする商品やサービスの提供”という経営理念の下、人生を豊かにする厳選した商品をお手頃な価格で皆様にお届けしてまいります。



My Wine Club (マイワインクラブ)

創刊 1999年

カタログ発行 年3回(季刊)

WEBサイト <https://mywineclub.com/>



お酒の通販「旨い酒が飲みたい」

創刊 2005年

カタログ発行 年4回(季刊)

WEBサイト <https://belluna-gourmet.com/02/012101/cart/sake/index/>



*1 東京商工リサーチ調べ(2008~2024年度) *2 東京商工リサーチ調べ(2016~2024年度)

当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、株主優待制度をご用意しています。①「優待割引特典、優待ポイント」または「自社取扱商品」及び②「ベルーナグループが運営及び提携するホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ俱楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」をご利用いただけます。内容やご利用方法をご確認の上、ぜひご活用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主優待電子化のご案内

優待商品の申込がWEBでお手続きできるようになりました

この度、株主様の手続き短縮および利便性向上、当社の事務負担軽減並びにコスト抑制を図るために、株主優待品の電子申込みを導入いたしました。お申込み方法は「株主優待のご案内」P4をご参照ください。今後とも、株主様の満足度向上に努めてまいります。



株主優待内容

①「優待割引特典、優待ポイント」または「自社取扱商品」から選択

①当社運営の通信販売で使用できる
優待割引特典



②ベルーナオンラインストアで使用
できる優待ポイント



③自社取扱の食品またはワイン
または日本酒



※お届け時期については「株主優待のご案内」をご参照ください。

保有株式数	優待の内容 優待割引特典、優待ポイントまたは自社取扱商品から選択
100株以上500株未満	① 1,000円分の通信販売優待割引特典 ② 1,000円分の優待ポイント ③ 1,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
500株以上1,000株未満	① 3,000円分の通信販売優待割引特典 ② 3,000円分の優待ポイント ③ 3,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売優待割引特典 ② 5,000円分の優待ポイント ③ 5,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒

② ベルーナグループが運営及び提携する国内ホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ俱楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券

ホテル



銀座ホテル by グランベル (東京)



ルグラン軽井沢ホテル&リゾート



銀座のステーキ



小幡郷ゴルフ俱楽部 (群馬)

飲食店



SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)

その他



銀座のステーキ 銀座本店 (東京)



銀座のステーキ 銀座中央店 (東京)



銀座のステーキ 渋谷店 (東京)



銀座のステーキ 恵比寿店 (東京)



銀座のステーキ 赤坂店 (東京)



銀座のステーキ 新宿店 (東京)



銀座のステーキ 蔦屋 (東京)



銀座のステーキ 鉄板料亭 銀座まつさか (東京)



小幡郷ゴルフ俱楽部 (群馬)



SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)

※提携ホテル

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	券面額 1,000円の割引券 2枚
500株以上1,000株未満	券面額 1,000円の割引券 6枚
1,000株以上	券面額 1,000円の割引券 10枚

※ご利用は現地決済に限り、事前決済は適用不可となります。

※ご利用方法は「株主優待のご案内」のP12をご覧ください。

発送時期・有効期限
期末 6月下旬 7月1日～12月31日
中間 12月上旬 12月1日～6月30日

対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載または
記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

連結業績の概況

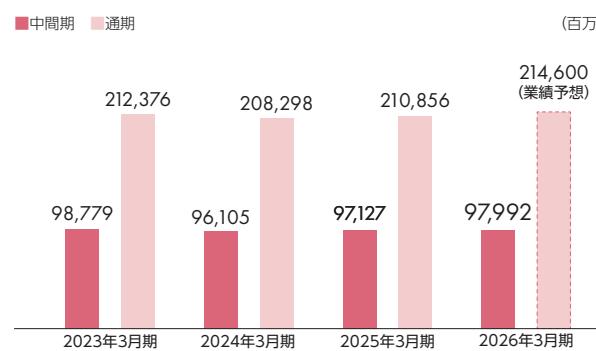
詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ペルーナ IR

検索

Consolidated Financial Statement

売上高



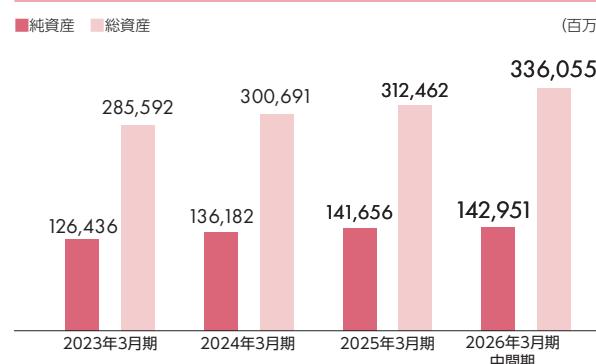
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



連結貸借対照表

	前連結会計年度 2025年3月31日現在	当中間 連結会計期間 2025年9月30日現在
資産の部		
流動資産	131,443	135,124
固定資産	181,018	200,931
有形固定資産	145,954	165,942
無形固定資産	11,820	11,052
投資その他の資産	23,244	23,935
① 資産合計	312,462	336,055
負債・純資産の部		
流動負債	61,616	56,040
固定負債	109,189	137,063
② 負債合計	170,805	193,103
株主資本	140,149	142,096
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	11,375	11,378
利益剰余金	118,956	120,887
自己株式	△794	△782
その他の包括利益累計額	1,164	670
非支配株主持分	342	184
③ 純資産合計	141,656	142,951
負債純資産合計	312,462	336,055

(百万円)
(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結損益計算書

	前中間 連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間 連結会計期間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
売上高	97,127	97,992
売上総利益	59,714	61,764
販売費及び一般管理費	56,144	56,890
営業利益	3,570	4,874
営業外収益	1,178	1,341
営業外費用	605	1,718
経常利益	4,143	4,497
特別利益	95	1,064
特別損失	26	362
税金等調整前中間純利益	4,212	5,199
法人税、住民税及び事業税	1,688	1,829
法人税等調整額	△55	32
中間純利益	2,579	3,337
非支配株主に帰属する中間純利益	14	10
親会社株主に帰属する中間純利益	2,565	3,326

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間 連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間 連結会計期間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,568	4,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,495	△24,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,637	21,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	230	△191
現金及び現金同等物の増減額	2,941	1,438
現金及び現金同等物の中間期末残高	40,186	37,651

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

① 資産合計

前期末に比べ23,593百万円増加しました。これは主に、流動資産において、営業貸付金、販売用不動産が増加したこと、また、固定資産において、建物及び構築物、土地が増加したことによるものです。

② 負債合計

前期末に比べ22,298百万円増加しました。これは主に、流動負債において契約負債が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金が増加したことによるものです。

③ 純資産合計

前期末に比べ、1,294百万円増加しました。この結果、自己資本比率は42.5%となりました。

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ペルーナ IR 検索

■会社概要

会 資 創 設 從 事 業 業 社 本 業 員 業 内	名 金 業 立 數 容	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.) 106億12百万円 1968年9月 1977年6月 3,943名 (連結) カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社
--	----------------------------	---

■役員

代表取締役社長	安野 清	社外取締役(監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	安野 雄一朗	社外取締役(監査等委員)	渡部 行光
取締役	宍戸 順子	社外取締役(監査等委員)	浜本 淳子
取締役	松田 智博		
取締役	宮下 正義		

■主な事業所

本 社	(埼玉県上尾市)
本 館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東グルメオーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
大宮コンタクトセンター	(埼玉県さいたま市)
A-GEOタウン	(埼玉県上尾市)
アリコベールオフィス	(埼玉県上尾市)

■株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
配 当 金 受 領	期末配当金 3月31日
株 主 確 定 日	中間配当金 9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	3月31日
株式の売買単位	100株
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株式会社 ベルーナ

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL 048-771-7753 (代表) <https://www.belluna.co.jp/>

■株式の状況

発 行 可 能 株 式 総 数	260,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	97,244,472株
株 主 数 (除く自己名義)	68,551名

■大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	43.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,937	8.2
安野清	2,916	3.0
安野公	2,914	3.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,649	2.8
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,666	1.7
ベルーナ従業員持株会	1,038	1.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	954	1.0

※持株比率は自己株式(1,001,903株)を考慮して計算しています。

■所有者別株式分布状況



株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

及び みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お問合せ先 TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)

上場金融商品取引所 東京証券取引所プライム市場



UD FONT